

神奈川県連合支部ハイキング 開催報告 (第12回)

神奈川県連合支部として第12回目となるハイキング(H24年度第2回)は、10/6(土)神奈川県中央部に位置する「大山」に登りました。標高1,252m。信仰の山として有名です。“大山詣で”が盛んになったのは江戸時代の中期。現代も阿夫利神社下社を訪れる人は多いようです。山頂までのコースはいくつかあり、今回は、小田急線秦野駅で集合し、バスで約40分のヤビツ峠から登りました。案内書では1時間10分のコースですが、急斜面の登りが多く、休憩を充分とりながら歩き、約1時間40分で登頂しました。当日は、3連休の初日とあって、阿夫利神社上社のある山頂は大変なにぎわい。なんとか場所を確保して昼食となりました。夕方から雨との予報で天気が心配でしたが、案ずることもなく下山するまで好天に恵まれました。ただ、頂上はガスが濃く時々相模平野がうっすらと望めるだけで、湘南の海岸線、江ノ島、大島、三浦半島、房総半島等は望めませんでした。昼食後、急勾配の下り道を見晴らし台まで1時間強。ここで脚の疲れがどっと出るところです。見晴らし台では晴天となり、大山、三峰山、鐘ヶ岳(第11回山行)等の山々が望めました。休憩後ほぼ平坦な道を阿夫利神社まで約30分。途中、“二重の滝”も横目で。元気な人だけ長い階段を上り、“阿夫利神社下社”に参拝。下社からはケーブルカーを利用。降車後、土産物屋、食堂等が両側に並ぶ参道を歩き、約15分で始発バス発着所。ノンビリ歩いた最後尾の数人は、バス発車2分前で乗車を開始しており、大慌て。伊勢原駅到着が丁度3時。予定より1時間早い解散となりました。約14,200歩。

その後、希望者による懇親会では、早や次回の話題も。(鎌倉ハイキング)
今回の参加者は下記の通り。14名は過去最多の参加人数でした。(文責：川島)

「参加者(敬称略)」

東京化学材料支部：重田康之(42S) 林正巳(42C)
横浜支部：土屋明德(33W) 望月恭一(35C) 原澤武久(41M)
高橋惣四郎(44C) 草場彰(修45E) 田代正夫(46C)
篠原義徳(修48M) 中里道明(修60C)
厚木支部：奥野恭正(36C) 関根範明(38C) 岡村守之(45S)
川崎支部：川島克之(38C)



皆さん良い顔です(大山山頂にて)



いまだ健脚風



連続する急登(頂上直下)



団欒(頂上にて)



山ガールも(頂上にて)



見晴らし台



見晴らし台



見晴らし台



阿夫利神社下社本殿前